

1. 園の教育目標

1. 滝川幼稚園は、仏教精神(素直・仲良く・おもいやり)に よる保育を実践し、一人ひとりが健康で、友達と明るく仲良く生活でき 感性豊かな子どもに 育つことを目標としています。
2. 広々とした園庭で のびのびと遊び自然との関わりを大切にし 健康な身体と 豊かな感性をやしないます。
3. 自由保育を中心とし、年令にふさわしい個々の育ちを大切に それぞれが自立する力を 育て生きる尊さを 知らせます。

2. 本年度に 定めた重点的に取り組む目標や計画

- ・ 様々な体験活動を 通して豊かな感性を 育む保育を実践する。
- ・ 日々の保育の振り返りを しっかりと行い 一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を心がける。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園教育要領をふまえ 園の教育理念・教育方針に従い 保育計画をしている。	園の教育理念が 日々の保育の中に 反映されるよう計画を たて 実践できる様 努力して取り組んでいる。 新教育要領が出ているが、保育の内容を時代にあった内容に さらに していく必要がある。これからの長期の課題になる。
教育要領・教育課程、子どもの実態 などを もとに考えて作成している。	毎年指導計画に加筆・訂正を行い 子どもの実態に即した内容に するよう努めている。教育要領も改訂され強調されている10の姿を意識した 内容にするよう努めている。
子どもの実態を的確につかみ、 具体的な手立てを 講じる。	日々の反省会で 各学年・クラスごと子ども達の様子、保育の反省をし 全職員が 子ども達の共通理解をし 課題が生じればその場で 解決方法・保育方法を考え 実践できる様にしている。
子ども達が 遊びを通して 様々な 事柄を 体験し楽しめる広がりを持った 保育ができるようにしている。	・子どもたちが興味を持った遊びを 発展し 年齢にふさわしい体験を 出来る様に 努めているが、まだまだ 充分とは言えないし ダイナミックさに 欠けている。
規則正しい生活習慣の定着に 向けて の指導を行う。	・基本的な生活習慣は、日々の保育の中で 衣服の着脱・うがい手洗い 排泄は、もちろんのこと メリハリのある保育に 心がけ 話を聞くときは しっかりとさけるよう けじめを持った生活に心がけている。 ・挨拶・感謝の言葉など 日々の生活の中で定着できるよう機会があるごとに伝えて いく。
自然の中で ダイナミックにあそぶ	・年々ダイナミックさが 欠如している。おそらく ダイナミックに遊んだ経験の少ない 教員が多くなってきてモデルとなって遊びを仕掛けていくのが難しい状況にある。 ・自然の中でダイナミックに遊ぶことができるよう園外保育等を増やしていきたい。
園内研修をする。	・リズムなどは、行っているが、外部の講師を招いて行う事も必要である。
各研究会・研修会に積極的に参加し	・全国・全道レベルの研修に 参加し 勉強してきている。 学んだことを積極的に 取り入れていく姿勢に 個人差があるので 底上げが必要である。
職員間で 学びあう。	・研修レポートは、提出しているが 共通の学びとなるような工夫が必要 である。
園だよりや 合同研修会を通して 幼稚園の情報を発信していく。	園の方針や取り組みは、園だよりや 参観日の講演会・HPや FMで 情報を 発信しているが 園便り・HP・FMの内容を より充実させていく 努力をする。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

日々の保育の反省会が 教員全体の 意識を高めるとともに 共通認識を持って 当園の教育方針に即した 保育を 実践することに努めているが、他園からの職員が入り、本来の滝川幼稚園の精神がしっかりと 受け継がれていない場面も多々あるので 共通理解をしていきたい。

また保育内容や進め方なども 新教育要領をふまえた時代に即した 指導計画等も見直ししていく必要があるのでは、ないかと考える。

#### 5. 今後取り組むべき課題

特別支援教育	インクルーシブを 考え 支援の必要な園児の理解を図るとともに 健常児との関わり合いや 支援の必要な園児が 自己充実感を味う 保育のあり方を考える。 関係機関との連携の在り方を検討し教師が 専門性を高める必要がある。
幼保小連携	・今年度から人数の関係で 第三小学校との交流のみとなった。 児童との交流もでき良かったが、教師間の交流を深くできると良い。 ・小学校教諭に子ども達の様子を見に来ていただく機会が まったくといってなくなり、教師間の交流は、逆行している感が否めない。小との温度差を感じる。
保育指導計画の立て方	・長期スパンでの計画を立て 見直しをもって早めに計画実践を行うよう心掛けるようさらに務める必要がある。 ・きめ細やかな実践を行うためにも早めの計画実践が不可欠である。
保育者の資質向上	・日々の反省を通し また 深く内省をすることにより 目的意識を共有し 保育を行っていく必要がある。 ・各自が自覚を持って向上できるようにする。

#### 6. 学校関係者の評価

息子を三年間通園させました。

日々の出来事や報告事項を連絡ノートを通じて先生からいただき、幼稚園で息子が見せる親の知らないほほえましい出来事や現在の課題や目標などを知ることができました。園での生活や行事を経験する中で、先生方には成長の段階に応じてのびのびと個性に応じた教育と目配りをしていただけたと実感しました。

また、「素直・仲良く・思いやり」ということを仏教の精神を通じて成長する姿を見ることもできました。

息子が年少の時の事です、お世話になったご近所の方がお亡くなりになりました。お悔みにお伺いした時、息子は黙って遺影の前に正座し、そっと手を合わせたということがありました。まだ死を理解できていなかったと思いますが、感謝やお別れの気持ちを手を合わせることで表現できたのは滝川幼稚園での学びがあったことに他ならないと感謝しています。

生活発表会や年長児が行う鼓笛などの行事に一生懸命に取り組み、楽しそうに幼稚園に通う姿を見ると日頃の先生方の教育や見守りのおかげだと感じていました。

のびのびと個性を尊重しつつ集団生活もしっかり学べる所が滝川幼稚園の良さであり、我が子を通わせてよかったと感じました。

#### 7. 財務状況

・公認会計士監査により 適正に運営されていると認められている。